

授業科目名	生命科学 I	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブタイトル	個体の成り立ちと生体内機能システムの理解	担当者	小原 令子			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>1) ひとつの細胞から遺伝子複製、細胞分裂、特異的遺伝子発現、細胞分化を経て多細胞体である個体ができあがっていく過程を概説する、2) 個体を形成している個々の細胞に注目し、それらの形態、機能の特異性を紹介する、3) 個体が有する種々の機能システムについて概説する</p> <p>【到達目標】</p> <p>個体のなりたち、ヒト生体内の機能システムについて理解し興味を持つ</p>					
履修条件	<p>1. 遅刻、欠席をしないこと。</p> <p>2. 授業中の教室への出入り、私語を慎むこと。</p>					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>文系のための生命科学（第2版）（羊土社）</p> <p>【参考書】</p> <p>細胞の分子生物学（ニュートン・プレス）、バイオの授業（羊土社）</p>					
授業回数	内容					
1	講義内容の概要説明					
2	細胞内構造と細胞の多様性					
3	個体のなりたち—ゲノムと遺伝子発現					
4	個体のなりたち—発生と分化					
5	個体の表現系と遺伝形式					
6	細胞の形態にかかわる細胞骨格と細胞接着					
7	脳の構造と神経系におけるシグナル伝達					
8	感覚器官					
9	神経システムにおける異常					
10	免疫システム					
11	微生物と感染症					
12	消化と吸収、エネルギー代謝					
13	メタボリックシンドローム					
14	細胞の寿命と細胞死					
15	血管形成、骨形成					
評価方法	出席状況、受講態度、試験などにより総合的に評価する。					
評価基準	10回以上の講義への出席があり、上記授業単位について最小限度の理解できた者については「C」、ほぼ理解できた者については「B」、さらに自分なりの見解を持ちそれを述べる事ができた者は「A」とする。ただし受講態度に問題がある場合は、この限りでない。10回未満の出席または上記授業単位の理解が不足している者は、その程度により「D」または「E」とする。					
その他	配布資料は各自でとり、保管しておくこと。欠席した場合は、次回に必ずとるようにすること。講義内容は、状況により変更する場合があります。また小テストを行う場合もあります。					